

特集

栄養外来・下肢静脈瘤外来 2つの専門外来を開設しました

新年のご挨拶

コラム 病気の始まり～未病って知ってますか～

新任医師紹介

HCU稼働について

神経内視鏡システムを導入しました

イベント開催報告

診療所のご紹介

INFORMATION



新年のご挨拶



社会医療法人祐生会
理事長

甲斐 史敏

Fumitoshi Kai

新年あけましておめでとうございます。COVID-19感染は相変わらず猛威を振りました。そのため病院スタッフは勤務中はもちろんのこと、勤務外でも行動を制限され、非常に疲弊しました。スタッフの皆さん、よく頑張ってくれてありがとうございます。しかしながら感染初期と比べ、重症化率が低下し、政府も5類感染症への引き下げの議論が始まるなどコロナ禍のゴールがようやく見えてまいりました。このまま収束に向かってくれることを祈念しております。

2022年の茨木みどりヶ丘病院を振り返りますと、祐生会に属して以降改善を重ね、その努力の結果が始め、実を結ぼうとしています。脳神経外科、循環器内科、麻酔科、糖尿病内科、整形外科の多くの常勤医師も入職し、安全な麻酔管理の下で脳外科・循環器内科のカテーテル治療や手術が始まりました。特に救急車の受け入れが約2,400件/年ペースとなりました。

今年はさらに医療体制を強化し、断らない救急を目指します。常勤消化器内科医師の入職も決まっておりますので、胃・大腸内視鏡検査を強化し、市内になくはならない病院となるよう一層励みます。

我々みどりヶ丘ヘルスケアグループは、真心の医療と福祉を通じて地域の人々に貢献してまいります。そのために、皆様のご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願ひ申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。

まだコロナ禍がおさまっていませんが、除々に社会生活が戻りつつあります。医療についても通常診療ができるようになりつつありますが、今後の感染状態によっては油断することができない状況です。

さて、茨木みどりヶ丘病院は昨年4月から脳神経外科と循環器内科の充実を図り、急性期病棟に4床のHCUを整備することにより、脳神経外科では手術および血管内治療を、循環器内科では心臓カテーテル検査を取り入れ、より高度な医療行為が可能となりました。また、救急医療についても、可能な限り救急患者さんの受け入れができるように体制を整え、昨年は一昨年と比べ倍増の1日6件以上、救急患者さんを受け入れることができるようになりました。今後もさらに多くの患者さんを受け入れできるように努力してまいります。

また、昨年7月から2階の療養型病床36床を回復期リハビリテーション病棟に変換しました。このことにより4階の急性期病棟60床、3階の療養病棟48床と合わせ、急性期から療養型まであらゆる段階の患者さんすべてに、きめ細やかな対応が可能となりました。昨年暮れからは8床のコロナ病床と休日の発熱外来を設置し、コロナおよびインフルエンザにも対応しています。

これからもより一層良質な医療を提供することにより、地域の皆様から信頼される病院になるべく、ますます努力して参る所存です。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



社会医療法人祐生会
茨木みどりヶ丘病院 病院長

朱 明義

Akiyoshi Shu

特集

栄養外来・下肢静脈瘤外来 2つの専門外来を開設しました

茨木みどりヶ丘病院では、まだまだ日本では聞き慣れないながらも先進的な観点から診療を行う栄養外来と、女性を中心とした多くの方がお悩みの下肢静脈瘤外来を設けました。日本抗加齢医学会専門医、循環器専門医として両外来を担当する馬庭医師に、それぞれの取り組みについてお話をうかがいました。

“未病”からケアして 将来の病気を防ぐ栄養外来

私たちの身体は食事から摂取する栄養素で構成されています。しかしファストフードやインスタント食品などの食事で栄養が不足したりバランスが崩れたりすると、体が必要とする酵素やホルモンを作ることができなくなります。また、生活習慣の乱れやストレスも身体のバランスを崩し、健康を損なう原因になります。その結果、体がだるい、体調がすぐれないといった不調をきたすことになります。ご自身でそういった不調を感じていながら、「もう歳だからこんなもの」「病院で診てもらうほどのことじゃない」と放置してはいないでしょうか。それらは“未病”と呼ばれる状態で、一般的な病院の検査でははっきりと病名がつくものではありません。しかし症状があるということは身体に何らかの異常があるというサインにほかならず、それは病気になる一歩手前の状態とも言えます。

栄養外来は栄養のバランスを整えて代謝力、免疫力、治癒力を取り戻すことで、未病を治すことを目的としています。診察ではまず問診でどのような症状かをうかがいます。次いで普段の食事内容のほか何時に起きているか、睡眠時間はどれくらいか、便通はどうかといった生活様式を詳しくうかがい、症状の背景にある原因を探ります。

治療法としては、欠乏していると思われる栄養素や改善が望まれる生活様式の指導や、必要であれば医師として推奨できるサプリメントをご紹介します。人はそれぞれ異なる体質を持ち、生活様式もばらばらです。栄養

外来ではそれらを考慮し、患者さんそれぞれに応じた個別医療を提供することで未病を治し、ひいては10年、20年先に起こりうる病気の予防に努めたいと思います。

痛みなく治療の負担が少ない 下肢静脈瘤外来

下肢静脈瘤とは、脚の静脈内にある血液の逆流を防ぐための弁が壊れ、逆流した血液がこぶのようにふくれて血管が浮き出る病気です。脚がだるい、ふくらはぎのはりや痛み、こむら返りが起きやすくなる、色素沈着といった症状があり、進行すると潰瘍になったり出血することもあります。治療ではカテーテルという細い管を血管に通して患部まで送り、高周波エネルギーによる熱で内側から焼灼して血管を閉塞させます。入院は1泊のみで、手術直後から歩くこともでき、痛み止めがあるので術後の痛みもありません。下肢静脈瘤は生命に関わる病気ではありませんが、見た目に現れる病気で痛みをとまなうことからQOL(生活の質)に影響することも考えられます。患者さんにとっては非常に負担の軽い治療ですので、まずは気軽にご相談ください。

循環器内科 部長

馬庭 直樹

Naoki Maniwa

日本心臓リハビリテーション学会心臓リハビリテーション指導医
日本循環器学会認定循環器専門医
日本心臓血管インターベンション治療学会認定医、日本内科学会認定内科医
日本抗加齢医学会抗加齢専門医



病気の始まり～未病って知ってますか～

循環器内科 部長 馬庭 直樹

皆さん、病気の始まりがどこにあるか考えたことがありますか？怪我なら事故にあった時が始まりですし、風邪をひいた時はウイルスに感染した時が始まりです。では、がんや心臓病、脳卒中などはどうでしょうか。症状が出た時？それともお医者さんに診断された時でしょうか？答えは「No」です。このような病気は症状が出たり、診断されるずっと前から始まっています。

「未病」という言葉をご存知ですか？未病とは「自覚症状はないけれど、検査で異常が認められる」状態や「自覚症状はあるけど、検査ではどこも異常はない」などの状態を指します。そしてまさにこの未病が病気の始まりなのです。ではどうして未病になるのでしょうか？

その答えを示すのに、とても良い考え方があります。それは「メタボリックドミノ」(下図)です。これは2003年に伊藤裕先生^(※)という方が提唱された概念です。糖質の摂り過ぎ、運動不足、睡眠不足、慢性的なストレスなどの生活の乱れが続くことで、最初のドミノが倒れ、それが続くことで肥満やインスリン抵抗性(血糖を下げるホルモンである「インスリン」が効きにくくなる状態)を生み出し、それがさらに進むことで糖尿病、高血圧、脂質異常を起こします。最終的には心臓病や脳卒中、がんなどの

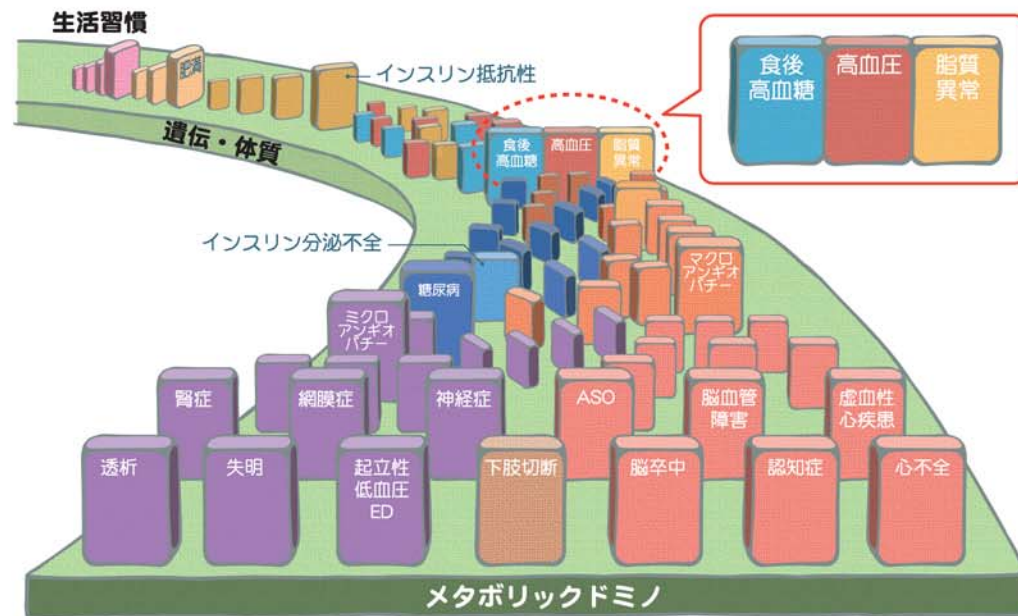
生命を脅かす病気になってしまうという概念です。未病は肥満やインスリン抵抗性などが出てくる状態であり、そのもととなる生活習慣の乱れが未病の原因になっています。

がんと心臓病は一見関係のない病気に思えます。しかし、このような病気は同じような機序で生じるのです。糖尿病の患者さんは、がん、心臓病、認知症いずれにもなりやすいことが疫学調査で示されています。こうした患者さんにはどのようなことが隠れているのでしょうか？それは「炎症」です。炎症は怪我をしたり風邪をひいたりした時に体を修復するために必要な反応ですが、小さな(場合によっては検査にも引っかからない程度の)炎症が長期間続くことで、血管や心臓、腸、脳などさまざまな臓器が老化します。臓器の老化が行き過ぎることで病気が発生します。

炎症は「酸化ストレス(体のさび)」や「糖化ストレス(体のこげ)」が原因となります。その原因の中でも最も重要なのが私たちの食生活です。当院では未病に対処すべく栄養外来を行っています。興味のある方はぜひ一度ご来院ください。

栄養外来日時:毎週水曜日・土曜日 9～12時

※慶應義塾大学 医学部 内科学教室 腎臓内分泌代謝内科 教授



伊藤 裕:日本臨牀 61(10):1837-1843.2003

新任医師紹介

整形外科

2022年5月から勤務させていただいております整形外科の鳥田敬一郎と申します。

一般的な整形外科疾患を中心に診察させていただいております。少しでも気になる症状がありましたら気軽にご相談ください。分かりやすい説明を心掛けていますのでよろしくお願いたします。



鳥田 敬一郎
Keiichiro Torita

HCU^(※)稼働について

2022年9月7日よりHCU4床が稼働しました。同時に、脳アンギオ(脳の血管造影検査)や心臓カテーテルの検査も開始し、検査後や術後、脳梗塞、急性心不全などの重症化リスクのある患者さんが入室しています。これにより安全な管理や異常の早期発見ができるようになりました。

※HCUとは、「High Care Unit」高度治療室のことを言います。



神経内視鏡システムを導入しました

神経内視鏡システム(オリンパス社製ビデオシステムセンサー、ビデオスコープ、4KLCDモニター^(※)など)を導入しました。

これにより、当院脳神経外科において1円玉ほどの穴をあけての内視鏡による手術が可能となり、従来の開頭術(大きく頭蓋骨を開く)よりも、患者さんの負担を軽くすることが可能となりました。

※4KLCDモニターとは、最新の画像処理回路による鮮明な画像観察、4K高解像化、32インチへのサイズアップ、ハイビジョン内視鏡映像であっても不足している画素をモニター側で補完し、通常のハイビジョン画像よりも、より解像感のある映像を実現できます。



イベント開催報告

◆第1回市民公開講座を開催しました

茨木みどりヶ丘病院第1回市民公開講座

2022年7月16日(土) 14:00~16:00

茨木市福祉文化会館にて市民公開講座を開催し、下記2講演を行いました。

講演① **心臓の病気はすでに始まっている**
循環器内科部長 馬庭直樹 医師

講演② **突然起こる脳卒中！備えておくこと**
脳卒中センター長 中澤和智 医師



◆健康教室を開催しました

2022年9月9日(金) 14:00~16:00

茨木市沢池多世代交流センターにて、茨木市民を対象とした健康教室(共催:茨木市)を開催しました。

1 **人の老化は血管から**
循環器内科部長 馬庭直樹 医師

2 **フレイルチェック**
看護師・リハビリテーション課スタッフ

【チェック内容】

血圧測定や内臓脂肪レベル・BMIなどの体組成測定、握力測定、歩行スピード測定や健康相談など

※フレイルとは健康な状態と要介護状態の間の状態のことです。



◆第1回グループ学会を開催しました

2022年10月29日(土) 14:30~16:30

立命館いばらきフューチャープラザ内グランドホールにて社会医療法人祐生会第1回グループ学会を開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のためWEB配信となりましたが、茨木みどりヶ丘病院をはじめグループ施設のスタッフが、日ごろの業務で得た知識をもとにした発表を行いました。

診療所のご紹介

当院では地域の開業医の先生方と緊密に結びつき、大切な患者さんの紹介や逆紹介などの連携を行っています。スムーズな情報共有によって当院と共に地域の医療を支える「医療連携協力機関」をご紹介します。

とよだ整形外科リハビリテーションクリニック

大阪府立春日丘高等学校の隣にある「とよだ整形外科リハビリテーションクリニック」。2020年11月に開院した新しいクリニックですが、近隣の方々を中心にたくさんの患者さんが来院されています。

●開院したきっかけは？

学生時代バスケットボールをしていたのですが、ケガや故障をする中でスポーツドクターの存在を知り、整形外科医師を目指しました。そして、私を育ててくれた茨木市で地域の皆様の健康寿命の延伸や身体的なパフォーマンスの向上に貢献したく、開院いたしました。

●先生の専門分野は？

一般整形外科・スポーツ整形外科・リハビリテーション科です。地域のかかりつけ医として患者さんの話を聞き、痛みの本当の原因を探り治療法を検討することに重きをおいています。例えば、腰痛の原因が実は股関節の深部の筋肉の動きが悪いためであったりします。そのように本当の原因を探り、リハビリテーションの介入や各種保存療法を行っています。

●クリニックの特徴

当院の特徴としてリハビリ室を併設しています。私自身できる限りリハビリ室に出向き、患者さんの状態を見させていただきながら、治療法を模索したりコミュニケーションを図っています。

●診療に対する想い

いつも診療の念頭にあるのは「この患者さんが自分の家族だったらどう治療するか」です。治療するには、まずは信頼関係だと思っています。そのため、患者さんはどのような生活をしていて、どのような疾患を持っているかなど、じっくり話を聞くことを心がけています。

住所 〒567-0031 大阪府茨木市春日2-1-12 ラウンド春日2F TEL.072-631-7710
URL <https://toyoda-orc.jp/>
診療時間 9:00~12:30、16:00~19:00 休診日 木曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝日



院長 豊田和也



医療法人一晃会 おおたに内科医院

JR茨木駅東口から徒歩すぐのところにある「おおたに内科医院」。主に内科、消化器内科を診察し、在宅診療も行っています。夜は仕事帰りの方でも来院いただきやすいように20時まで受け付けておられます。

●開院したきっかけは？

私は茨木市出身で、生まれ育った当地で医療人として地域に貢献したいと思い開院いたしました。ホームドクターとして幅広く診療を行い、必要に応じて総合病院へのご紹介もさせていただいています。

●先生の専門分野は？

消化器疾患ですが、患者さんのお身体の状態を把握しながら、検査や診察をするように心がけています。また、漢方も取り扱っていますので、状態を診ながらご相談のうえ西洋医学と東洋医学を併用して治療に取り組んでいただくことも可能です。

●診療に対する想い

病気は早期発見が重要です。当院では、院内で胃がんなどの病気の早期発見を目的とした内視鏡検査を実施しています。より多くの方に検査していただけるよう、苦痛・不快感が少ない鼻から内視鏡を挿入して観察する「経鼻内視鏡検査」を行っています。また、眠っているのと同様状態でも検査を受けていただける「静脈内鎮静法」も行っていきますので不安や恐怖心が強い方もご相談ください。消化器内視鏡専門医として豊富な経験を持ち、精度の高い安心な検査をご提供できると自負しています。

●メッセージ

ご自身のお身体で気になることがあれば、何なりとご相談ください。内科認定医がお一人おひとりのライフスタイルに寄り添い、きめ細やかに診療させていただきます。

住所 〒567-0887 大阪府茨木市西中条町1-22 エンゼルウチダ1F TEL.072-622-9060
URL <https://otani-naika.jp/>
診療時間 9:00~12:00、16:30~20:00 休診日 水曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝日



院長 大谷晃司



INFORMATION

回復期リハビリテーション病棟が稼働

2022年7月1日より2階病棟に36床の回復期リハビリテーション病棟を開設しました。医師、看護師、セラピスト、医療ソーシャルワーカー（MSW）の多職種のチームワークを活かし、患者さんの日常生活動作（ADL）の向上をめざし、社会生活への復帰や参加の支援をしています。

オンライン面会を開始しました

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い面会を中止していましたが、入院患者さんご家族の皆様にお話ししていただけるよう、当院でもオンラインによる面会の体制を整えました。



看護部インターンシップ初開催

2022年8月25日当院で初めてのインターンシップを開催しました。コロナ禍の中、制限はありましたが、職場の見学や先輩スタッフとの座談会において「看護師として働くということのイメージ」が具体的に変わったようです。※次年度のインターンシップについては、病院ホームページにてお知らせします。

新たに専門の
資格を取得しました

日本抗加齢医学会抗加齢専門医

循環器内科 部長 馬庭 直樹 医師

広報誌に関するご意見・ご感想・お問い合わせは
祐生会広報まで

祐生会広報
電話番号

072-681-5764



midori-info@midorigaoka.or.jp

社会医療法人祐生会
茨木みどりヶ丘病院

〒567-0034 大阪府茨木市中穂積3丁目2-41



診療受付時間 9:00～12:00(月～土曜日) 18:00～19:30(月・水・金曜日)

休診日 日曜日、祝日、年末年始(12/30～1/3)

時間外診療 24時間365日対応 お問い合わせ:072-622-1515(代表)

<https://www.midori-ibaraki.jp/>



みどりヶ丘ヘルスケアグループ一覧

医療施設

みどりヶ丘病院 TEL 072-681-5717
茨木みどりヶ丘病院 TEL 072-622-1515
城北みどりヶ丘病院 TEL 06-6922-6721

訪問看護サービス

みどりヶ丘訪問看護ステーション TEL 072-681-5605
みどりヶ丘ケアプランセンター TEL 072-681-5794
みどりヶ丘ケアプランセンターつかはら TEL 072-697-0037
茨木みどりヶ丘訪問看護ステーション TEL 072-665-8144
茨木みどりヶ丘介護相談所 TEL 072-623-7744

高齢者向け介護施設

みどりヶ丘介護老人保健施設 TEL 072-692-3111
グループホームみどりヶ丘荘 TEL 072-692-3287

保育園

みどりわかば保育園 TEL 072-683-8221
茨木みどり保育園 TEL 072-665-9996